



菊池 巳喜男 議員
(市民クラブ)
一問一答方式

奨学金制度の現状と 給付型奨学金について

問.....

政府は1億総活躍プランに大学生らを対象とした返済不要の給付型奨学金の創設検討方針が盛り込まれた。経済的に恵まれない学生に大きな支援となることが期待されるが、遠野市の取り組みはどのようになっているのか。

答.....

奨学金制度について

は、市のホームページや広報遠野に掲載し、市内の中学校と高等学校にも募集案内を送付して広く周知を図っている。奨学金額は、月額で高校生が1万5千円、大学生は4万円を限度とし、選考を経て無利子による貸与決定を行なっている。

問.....

遠野市としては、国が行なおうとしている給付型の奨学金制度の

ような取り組みは模索していないか。

答.....

当市でも十分認識している。ただし、財源の問題、支給件数や支給すべき奨学生の要件、対象とする進学先など、吟味すべき事項が考えられることから、国や県、他市町村の動向を見ながら検討していきたい。

文化財の保護と 継承について

問.....

遠野市では文化財保護法に基づき、市の区域内にある重要なものについて、保存及び活用のため必要な措置を講じることを条例で定めている。その条例に基づいて適正な保存や管理のもとで、後世に継承していかなければならないが、その現状はどうなっているのか。

答.....

指定文化財の管理は、権利を有する所有者または管理責任者が管理することが条例で規定されている。市では、管理状況を確認し必要に応じて指導や助言を行い、保存のための修理・復旧等が必要な場合、必要経費の四分の一を補助することになっている。

今後も未指定の文化財を含めて様々な調査・保存・継承に取り組み、情報発信や環境整備に努め、文化の向上と郷土愛の醸成に役立てながら、文化財を生かした活力ある地域づくりを推進していく。



遠野市指定天然記念物の1つ千本カツラ

児童扶養手当等を 毎月支給する道を探れ

問.....

児童手当・児童扶養手当等の公的手当は、法律上年3回の支給と決まっている。しかし、受給者にとって「まとめ支給」は、収入や生活費の多い・少ない等で家計運営を立てにくい弊害がある。この現実をどう捉えているか。

答.....

4か月に1回のまとめ支給は、計画的な家計運営が難しい家庭などにとって支障となっていることは理解している。支給回数を増やすことにより、毎月の家計が平準化することで安定的な家計運営につながるということが重要である。

問.....

兵庫県明石市では、NPOや社会福祉協議会等の第三者機関を使って今年度中の毎月支給の実現に取り組んでいるが、この評価と

答.....

「子育てするなら遠野」につながる、毎月支給実現への考え方は。

毎月支給を希望する受給者宅を訪問して手渡し、その家庭状況を把握できる明石市の方式は、先駆的な取り組みであり十分検討に値する。国の今後の動向を注視し、子育てするなら遠野推進本部において対応していく。

医療受診環境の充実に 巡回診療車の導入を

問.....

附馬牛診療所や宮守町の個人医院の閉鎖により、市中心部から離れた地域の医療機関受診環境が悪くなっている。高齢者や生活弱者が増え、困っている状況をどう捉えているか。

答.....

導入事例は承知しているが、医師や看護師・薬剤師など人材の確保や既存の病院運営への影響等の課題もある。少子高齢化の現状を踏まえ、地域コミュニティを維持しながら、これまでと同様に多様な支援のネットワークにより、地域医療環境の充実に努めていく。

答.....

医療機関の減少は、特に高齢者や交通弱者には健やかな生活を営んでいくうえで、影響が大きい問題と認識している。

問.....

国内では「地域移動巡回診療車」を導入し、病院や消防と連携して成果を上げている地域もある。本市の無医地区等の医療機関受診環境向上や市民健康福祉のため、移動巡回診療車を導入する検討や可能性は。



瀧本 孝一 議員
(市民クラブ)
一問一答方式



児童扶養手当等の支給回数を増やすことが、収入の平準化と家計の安定につながる。